

JR連合 第27回定期大会開催

スローガン 安全最優先の取り組みの進捗化、政策課題の解決・前進を図るべく、そして民主化闘争の完遂・JR労働界の一元化にむけてJR連合総がかりの運動を強く広く展開しよう！

JR連合は、6月11日～12日に掛けて第27回定期大会を都内の東武ホテルレバント東京で開催した。全ての議案は、真摯な質疑を経て満場一致で採択された。



松岡 JR連合会長（挨拶要旨）



私たちは、26年前に民主的な労働運動を求めJR総連からの決別がJR連合の「生い立ち」である。JR東労組は今年に入ってから3万人を優に超える7割以上の組合員が脱退し、組織瓦解が始まっている。私たちは、更なる30年を見据え真に民主的な労働運動、JR連合運動を展開しなければならないと強く感じている。また、『「働く事に」重要な価値を置き、自立と支え合いを基礎に、誰もが公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に貢献できる参加型社会』を目指さすことを冒頭に訴えた。そして、「安全確立」「民主化闘争」「産業政策」「中期労働政策ビジョン」「政治活動」の5点について詳しく述べられ、大会成功に向けた要請と挨拶がされた。

JREユニオンを代表して、斎藤修代議員が決意を発言！

斎藤 代議員（質疑の先陣を切って発言した内容要旨）



斎藤代議員

東労組は「格差ベア永久根絶」を標榜しストライキも辞さないと会社に通告した。結果として、会社から三行半とも言える「労使共同宣言の失効」の通知を受け、これにより多くの東労組組合員が反発し現在、3万2千とも3千ともいわれる方が脱退し4万8千名の組織が1万数千になったと言われている。

私たちと共に、JR連合の仲間と一緒に明日を切り拓こうとする仲間を説得するため正しい情報を広く伝え一層の組織拡大と平成採用社員が間違えた方向に進まないよう取り組みを進めている。今後とも、JR連合の仲間とともに、ご指導を頂きながらさらに前進していく。

今こそ、民主化のうねりを拡大させ、JR連合10万人の目標を達成しよう！